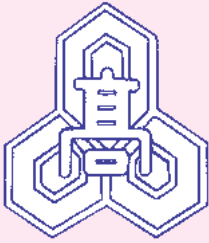


大田高校 P T A 広報



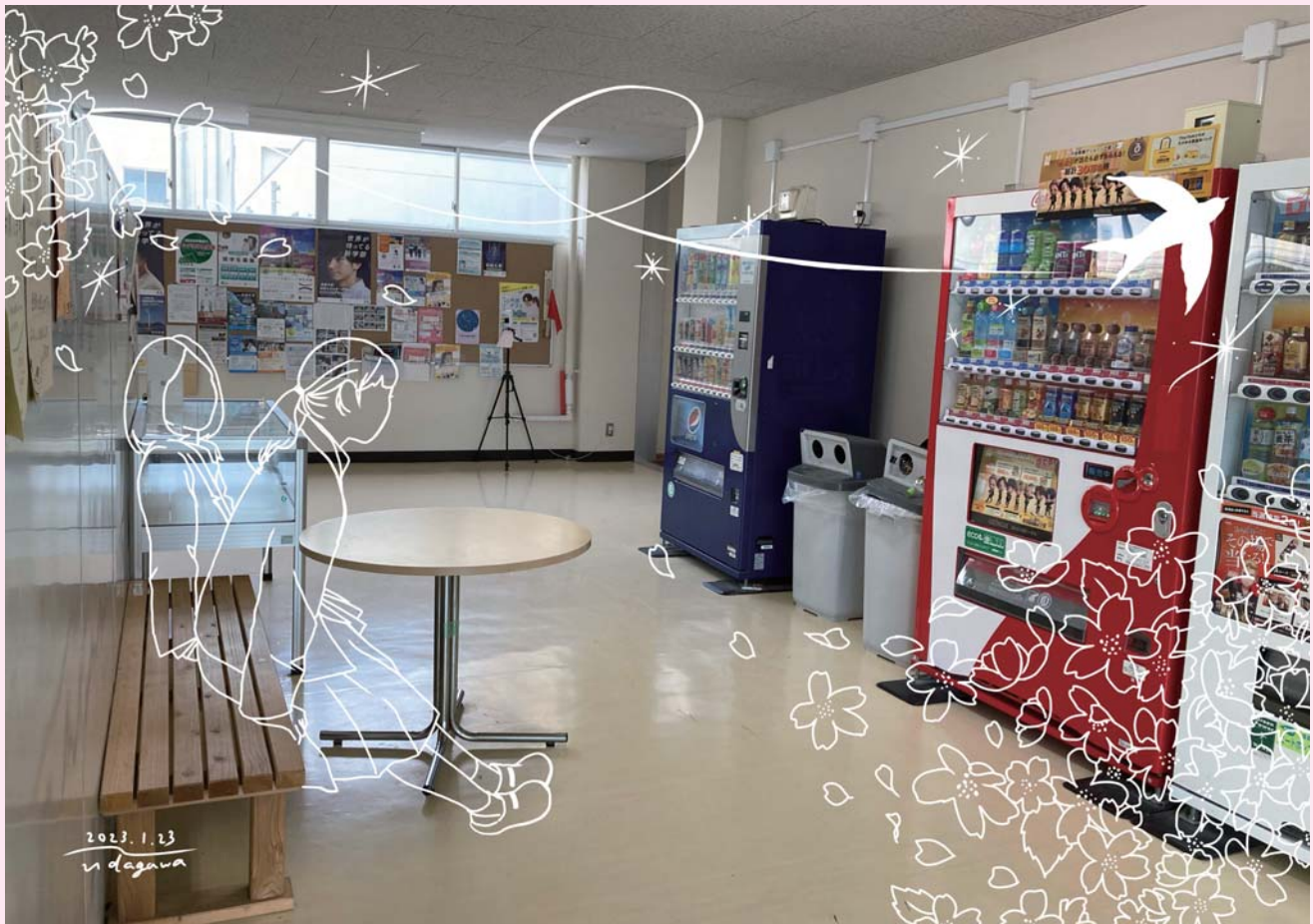
泰山木

Taisanboku

第123号

令和5年3月1日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



絵：宇田川沙紀(美術教員)

「泰山木」とともに

校長 渡部敏郎

大田高校での勤務二年を終えようとしています。日本海の荒波を見ながら気持ちの良い風を感じ、そして緑豊かな山道を抜ける毎朝の通勤ルートをとっても気に入っています。学校に着き玄関に入ると温かい木のフロアが迎えてくれ、そして登校してきた生徒の皆さんと挨拶を交わすと、「本当にいい学校に勤務させてもらっているな」という感謝の気持ちがこみ上げてきます。

今年度は、「一隅を照らす」という言葉を引用し、随所で自分の持ち味を活かし、自分の周りを、そして全体を輝かそうと呼びかけてきました。さすが大高生の皆さんはよく理解し、各々の立場で新しいことにも精力的に挑戦してくれました。生徒会や部活動はもとより、様々な課外活動も新聞等に取りあげてもらい、皆さんが各々の一隅を照らしながら成長していく姿を見ることができ、大変うれしく思っています。

さて、本校の百年を見守ってきた「泰山木」をご存じでしょうか。現在は岩谷奨学会館の庭に植えられ、初夏にはわずかながらも大きな白い花を咲かせてくれています。大正十年の開校の年に、旧制中学校設立記念として寄贈を受け植えられたものです。開校以来、変わらず大高のシンボルツリーとして存在してきました。途中火事によって一部消失したものの、その生命力は強く、大高百年の歴史を知る唯一のものとして、立ち続けています。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。「泰山木」の花言葉は「前途洋々」、その言葉どおり、皆さんの行く手は希望に満ちあふれています。自ら選んだ途に自信を持って歩み出してください。そして卒業にあたって、本校を見守り続ける「泰山木」に、今一度気持ちを向けて巣立ってもらおうとうれしく思います。

また、今年度は百周年記念事業完了の年でもあり、記念史誌の発刊や岩谷奨学会館の整備も終えることができました。学校が百年続くことはあたりまえのことではありません。その時々々の生徒、保護者の皆さんの大高を思う気持ちが脈々と受け継がれてきたからに他なりません。本誌題となった「泰山木」とともに、大高の伝統がさらに繋がれていくことを願い巻頭のご挨拶とします。

卒業生へ

贈る言葉

保護者より

『贈る言葉』

(ハスの三徳にのせて)

渡利 勝信

卒業生の皆様へ、ある「お花」を喩えに饒の言葉を贈らせて頂きます。

大田には市の天然記念物にもなっている「大賀ハス」と言う、二千年前からの種から咲いた古代のハスがあります。このハスという花には、実は私達の生き方を教えてくれる深い意味が込められています。

①ハスは泥の中に咲いていても、全く汚れに染まらず、美しい姿で清らかな花を咲かせます。(どんな環境にあっても、立派な人として生きていく)

②ハスの種だけは、千年以上をも経た種を蒔いても立派な芽を出し、美しい花を咲かせ実を結びます。(いつも変わらない堅実な姿勢で、自信を持った誠実な人生を立派に生きていく)

③ハスの花だけは、花が咲くのと同時に既に実もできています。(人はみんな生まれれた時に、既に善の心が備わっている)と教えてくれているようです。これからの皆様の人生には、いつも

ハスの華が持つ徳のように、美しい心の蓮(はちす)が開くことを願います。

卒業おめでとう

うざいます

森山 真紀

「親の役目は美味しいごはんと安心して眠れる場所を作ってやる事だけだよ」

娘の事を心配している私に友人が掛けてくれた言葉です。内向的で人見知りの娘が二年生の夏、弓道部の部長に選ばれた当時、素直にそんな親になりたいと思つた事を覚えています。

部長としての一年間、報われない事の方が多かったと思います。それでも毎日努力を続け、少しずつでも前に進もうとする娘を間近で見守る事が出来た一年間は、親として幸せな時間だったと同時に「娘は大丈夫」と私に思わせてくれた貴重な時間でした。

皆さんもこれから困難や葛藤にぶつかる場面があると思います。疲れて動けない時は、「美味しいごはん」と安心して眠れる場所がある事を思い出して、いつでも帰って来て下さい。

最後に、娘を信頼し協力して下さい。先生方、いつも傍で支えてくれた友達と後輩の皆さん、本当にありがとうございます。心より感謝致します。

皆さんの未来にたくさんの笑顔がありますよう応援しています。

卒業生の皆さんへ

橘 厚子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、中学校卒業から新型コロナウイルスにより様々なことが制限された高校生活でした。でも、皆さんは今できる全てで高校生活を楽しまれたことでしょう。

これから歩んでいかれるその先は、決して皆さんが今思い描いているものではないかもしれませんが、進もうとした道が歩めないこともあるかもしれません。でも、周りを見て下さい。道はあちこちに続いています。遠回りをしたって元の道に戻れます。歩んだ道の先で新たな自分を見つけることもあります。諦めずに、この三年間のように、その時できるすべてで自分を生きて下さい。失敗はチャンスです。目の前のチャンスを掴むか逃すかは自分次第です。苦手なことも挑戦してみ、多く

のことを経験してください。

先生方もご家族も、皆さんの幸多き人生を願い、これからも応援して下さい。どうか、家族と友人と仲間と繋がり、支えあいながら力強く歩ん

で行って下さい。

卒業生へ贈る言葉

朝野 桂次

「春風や闘志いできて丘に立つ」

春になると思い出す高浜虚子の句です。冬が過ぎ日を追うごとに暖かくなりながら、でも、まだピリツと肌を刺す冷たさの残る春の風を感じるこの句が新たな道を踏み出す卒業生のみなさんの姿と重なります。

卒業後、故郷を離れ初めての土地で初めての一人暮らしを始める人も多いと思います。そんな新たな生活に大きな期待と不安を抱いているのではないのでしょうか。親としても巣立つていくみなさんを心配しつつ、多くの刺激を受け、さまざまな事にチャレンジし成長していく事を心から願っています。

でも、もしそんな生活に疲れて自分を見失いそうになったら家族に電話して下さい。高校時代の友人に会いに行つて下さい。

そして、時には故郷に帰って来て下さい。そこにはずっと変わらずやわらかな風が吹いていますから。

ご卒業おめでとうございます。旅立つみなさんの人生に幸多きことを心からお祈りします。

卒業生からの メッセージ

高校生活を振り返って

一組 岩谷海翔

高校の三年間は、非常に多くの学びがありました。

その中でも、特に野球部での多くの出会いが私自身を支え成長させてくれたと思っています。同級生の七人は一人も欠けることなく最後の最後まで歩むことができました。辛い事や逃げ出したいことがあっても乗り越えることができたのはこの七人であつたからでこれからも大切な七人です。

先生には、多くの迷惑をかけたと思いますがどんな時も信じて試合に使ってくださり、目指すべき方向を常に示してくださいましたように感じます。引退後の進路にあたって後悔しないよう導いてくださいました。

思い返してみると、私の高校生活を充実させてくれたのはいつも周りの方々の支えでした。進路決定に至っても非常に多くの方々に助けていただきまし。大学に通えることや野球ができることは、当たり前ではないことを理解し、感謝の思いを胸にこれからの生活を送っていききたいと思います。

二組 門田真亜子

新型コロナウイルスにより、色々な制限がある中で高校生活でした。

部活動では休日に県内で撮影会をしたり、たくさんコンテストに出品したりと楽しい事もたくさんありました。また、友達に誘われてボランティアにも参加しました。ボランティアを通じて地域の方と交流したり、地域の子どもたちと関わってたくさん話すことができ、とても充実したものとなりました。

学校生活では、互いにわからない所を教え合ったり、勉強のことだけでなく趣味や他愛もない話で盛り上がったりと楽しく学校生活を送ることができました。総合探究では、リーダーとなり、意見を伝え合ったり、話し合いを進めたりと、自分から積極的に行動することでグループをまとめる力がつきました。

四月からは大学生活が始まります。新しい環境で学ぶことに不安はありますが、これからも更に成長していけるように頑張ります。

三組 岡田来実

楽しみにしていた高校生活は休校からスタートしました。この三年間は、イベントや大会など中止になることも

あり、制限が多くかけられました。不安に思うことも日々ありましたが、友達と遊んだり趣味に没頭することもあったので、自分なりに沢山楽しんだと思っています。

私は卓球部に所属していました。部活動をしている中で、思ったように上手いかず辛いことも多かったです。

しかし、先輩や後輩、先生方の支えがあつたおかげで自分の目標が達成できました。卓球以外では太道と言う武道をしています。年齢層が幅広く、大人の方から仕事についてや自分の将来について話し合うこともありました。卓球と太道を続けていたことで、沢山の人と関わりコミュニケーション力や学びを得たことが自分にとって大きく成長出来たと思います。

毎日部活をすること、大高祭や遠足などは高校を卒業すると経験出来ないことなので、一、二年生の皆さんには一日一日を大切に、部活などは悔いの残らないように全力で頑張つてほしいです。応援しています。

四組 和田楓花

私の高校生活は制限の連続でした。休校、黙食、さらには関東研修旅行の中止。相次ぐ行事の変更・中止に、こんなはずじゃなかったという思いです。

しかし今改めて振り返ると、制限されるが多かったからこそ、通常では見落としてしまうようなことでも感動・感謝することができ、より深く記憶に残る思い出になったと思います。

私にとってその一つに部活動があります。大会縮小、練習試合の制限、大会中も、いつ競技中止を告げられるか不安でした。それでもお互いに体調を気遣い、ルールを作りながら挑み続けた結果、県ベスト8という記録を残すことができました。目標には到達できませんでしたが最後までみんなとバレーができたことが何よりも嬉しかったです。今となつては高校生活一番の青春だったと思います。

そして最後の大高祭。勝敗よりも、中止にならないことを一番に願いました。文化祭では密にならず、楽しめるように案を出し合い、体育祭では猛暑の中、マスク姿でダンス練習をしました。下級生も理解し協力してくれたことにとっても感謝しています。そして最後には総合優勝することができ、三年間一緒に過ごしたクラスメイトと最高の思い出が作れたと思います。

たとえコロナ禍でも諦めず、みんなの工夫と協力が大きな力になり、楽しむことができました。そして素晴らしい結果と思いを残してくれました。三年間ありがとうございました。

力強く次の一歩を

三年一組 担任 阿川 直樹

英語のニュースを聞いていると、ここ数年「ジェンジー」という言葉を時々耳にするようになった。最初にこの言葉を聞いたとき、どうしても頭の中で綴りがイメージできなかった。いろいろ調べて見ると「ジェンジー」とはGeneration Z (Z世代) の略称 Gen Z であることがわかった。ある辞書には、Z世代とは「インターネットに親しんでいる一九九〇年代後半から二〇一〇年代前半に生まれた人たち」と定義されている。そう、まさにみなさんはこのZ世代に属している。確かに、みなさんの多くが最初に手にした携帯がスマホで、はじめからネットと繋がった世界を享受し、LINEなどのソーシャルメディアは欠かすことのできない生活の一部となっている。私のような携帯などなかった時代が長く、徐々にガラケー、スマホを使うようになった団塊ジュニア世代とでは、まったく違う価値観を持つのも当然のことかもしれない。

そんなZ世代のみなさんは、思いも

よらずコロナとともに高校三年間を歩むことになった。できないことや制限されることばかりで、思い通りにいかないもどかしさを常に感じながら生活してきたと思う。ただ、自分たちの活躍の範囲で創意工夫をしながら様々な活動に取り組んできたのは間違いない。特に、三年次の大高祭で見せたみなさんの躍動感あふれる生き生きとした様子はとても感動的で強く印象に残っている。

他でもない「struggle (困難などから)立ち直る力」こそ、みなさんがこの三年間で培ってきた力である。きっとこれからの人生でも思ってもみないような難しい局面が幾度となく訪れるだろうが、Impossible is not true. (不可能なんてないんだ)、とばかりに力強く歩を進めてほしい。

まだはもう、もうはまだ

三年二組 担任 原 資子

以前、英語の先生が「yet」という単語は『まだ』と訳すときもあれば、『もう』と訳すときもある。まだはもう、もうはまだ、だよ」と教えてくれたことがあります。例えばテストに向けて「まだ時間がある」と思っていたも、あつという間に「もう当日になった」ことはよくあるし、逆に「もう明日だ」と思っても「まだやる」ことにはあ

れることはある」と粘って頑張ることもできます。私はこの『もう』の切り替えが上手にできることが大切だと考えています。皆さんは高校を卒業して、社会に出ていきます。今ま

では「今日から試験期間です。この範囲で勉強しましょう」など指示をされていたことも、社会に出たら自分で考え、計画を立て、実行しなければいけません。そんな時に「もう間に合わないからやめた」「つらいから続けるのはもう無理」と諦めてしまっても誰も助けくれません。自分を助けるのは自分自身。「まだできる」「まだ頑張ってみよう」と自分を奮い立たせて進んでください。そうやって前を向いて進んでいくことができる人は、必ず評価して助けてくれる人たちに囲まれています。時には苦いアドバイスをくれる人もいます。でも「まだこの人は伸びる」と思うからこそ言葉なのです。そんな苦い言葉をくれる人たちとの出会いを、多く持つて欲しいと願います。自分のことも、そして人のことも「もうダメ」とせず、信じて進んでください。

今日は『もう』高校を卒業した日であり、これからの人生の『まだ』始まりです。今後の皆さんの人生が充実したものとなるよう、祈っています。卒業おめでとうございます。



三年担任

新たな旅立ちに向けて





新たな旅立ちに向けて



「祝・卒業」

三年三組 担任 清水 真人

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆さんとの出会いは一年前の桜が満開の四月の始業式でした。出会ってから卒業までほんとにあつという間でしたが、多くの大切な思い出をもらいました。なかでも、体育祭での感動は忘れることができません。今でも自分で信じられないのですが、体育祭後のHRでは私自身、自然と涙腺が緩んでしまいました。皆さんとの関わりの深い多くの先生方も同じように心を打たれていました。皆さんは、ひとりではありません。応援してくれる人達がまわりにいることを忘れないでください。

華やかな桜も一年中満開に咲き誇っているわけではありません。皆さんも大田高校での三年間、楽しいことばかりではなく、多くの努力や苦勞をしたと思います。その分しっかりと根を張り、太い幹になって、今、華やかな桜の花を咲かそうとしているように見えます。華やかな花を咲かせた桜も、やがて次に向けて新しいスタートを切ることとなります。そして必ずやまた美しい花を咲かせてくれます。次は今以上に根を張り幹を太くして、より華やかに。まわりの方々への感謝の心を忘れずに活躍されることを楽しみにしています。

心のマスクをはずして

三年四組 担任 金山 弘子

マスク生活も長くなり、初めて会ったときからマスク姿しか知らないという人も増えてきました。マスクをはず

した姿をふと見かけると、印象ががらりと違う、そんな経験をしたことがある人も多いと思います。顔の大きな部分を覆っているマスクの下を勝手に想像し、思い込んでギャップを感じてしまう。最近、そんな思い込みを反省することが多い私です。

人間関係にも、そんな部分があるように思います。もしかしたら、この人苦手かも・・・。だけど話をしてみたら、全然違って話しやすい人だった、そんな経験が何度も何度もあります。一部分だけを見て見えない部分を想像し、思い込んでいる。私、もしかしたら心にもマスクをしてしまっているかも。いつかのHRでそんな話をしました。生徒とちよつと心の距離を感じていた担任の反省を込めて。高校最後の一年は、本当のマスクは外せなくても、人との距離が離れていても、あいだにアクリル板があつても、心のマスクははずそう。と。

皆さんが送った高校生活の三年間、マスクは必須アイテムでした。入学早々、休校になり、不安だったことでしょう。楽しみにしていた行事がなくなつたり、グループ活動なども制限されたり、普段話をしない人と距離が縮まる機会も少なかった。この一年は受験を控え、ひとりひとりが持つている闘志が周囲に見えることは少なかったかもしれませぬ。しかし、心ではお互いの闘志に焦つたり励まされたり、互いに感じ取り、自分を鼓舞してきたからこそここまで成長できたと思います。自信を持つて、ここを巣立っていつてほしいです。ご卒業おめでとうございます。新たな道でのご活躍をお祈りしています。



入学式(令和2年度)

【学校評価アンケートの結果について】

令和4年度学校評価アンケートの実施に際しましては、生徒の皆さんおよび保護者の皆様にご協力いただき、大変ありがとうございました。今年度のアンケートの結果につきまして概要をお知らせいたします。

本アンケートのねらいは、今年度における本校の教育活動全般について、生徒・保護者・教職員がさまざまな項目で評価し、次年度の目標を設定し、より充実した教育活動を計画していくことにあります。

今後はこのアンケートの結果をふまえて、各分掌・学年会等で反省と改善策を検討し、学校運営協議会を経てまとめていきます。その内容につきましては、後日ホームページ上にて公表いたします。

令和4年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全学年：351名回答）

■とてもそう思う (4) ■だいたいそう思う (3) ■あまりそう思わない (2) ■全くそう思わない (1) ■わからない (0)

評価項目	平均	(%)
1 本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.6	8 44 26 8 14
2 地域に係る活動（探究学習など）を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	3.0	23 58 13 2 4
3 IT教育（プログラミング学習やIT講演会）を通じてITへの理解や興味が深まりましたか。	2.8	16 53 25 4 2
4 協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて深い学びをすることができましたか。	3.2	36 53 9 1 1
5 本校は、教室にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.6	60 34 5 0 5 0 5
6 本校は、自分から「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに促されていますか。	3.1	27 59 10 2 2
7 宿題・課題等に取り組むことが、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.1	29 53 13 4 1
8 本校の図書館は利用しやすいですか。	3.1	26 41 13 2 18
9 本校の図書の蔵書構成（自分が読みたいような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	3.2	25 41 8 1 25
10 「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示の掲示は、読書への興味関心につながっていると感じますか。	2.9	19 46 18 4 13
11 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.2	35 53 10 1 1
12 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	3.2	36 38 10 2 14
13 本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。	3.1	28 49 13 5 5
14 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	3.0	18 50 16 1 15
15 本校の進路講演会や学年集会等を通して得た進路に関する情報は役に立っていますか。	3.3	32 58 6 1 3
16 本校のキャリア教育（進路学習）を通して、自分の生き方なり方について考えることができましたか。	3.1	22 62 10 1 5
17 放課後補習・夏期補習（3年対象）や休日講座（自習型・模試対策型）は学力向上に効果がありますか。	3.0	23 44 14 4 15
18 本校は、あなたの進路の実現に努めていますか。	3.2	27 59 8 1 5
19 大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	2.9	12 36 13 1 38
20 本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.3	36 54 4 1 5
21 本校では、スクールカウンセラーに相談できることを知っていますか。	2.9	90 4 1 5
22 本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。	3.0	20 56 12 2 10
23 あなたの健康管理・維持への本校の対応や指導は適切ですか。	3.1	25 60 8 1 6
24 人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができましたか。	3.3	37 52 5 2 4
25 本校は相談しやすい学校ですか。	2.9	16 52 19 4 9
26 学校生活を通して自分のことを理解してもらっていますか。	3.1	19 61 9 2 9
27 総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	3.0	22 58 11 4 5

令和4年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：162名回答）

評価項目	平均	■とてもそう思う (4) ■だいたいそう思う (3) ■あまりそう思わない (2) ■全くそう思わない (1) ■わからない (0)				
		(4)	(3)	(2)	(1)	(0)
1 本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.6	30	12	3	54	(96)
2 本校は、地域に係る活動（探究学習など）を通じて、お子様の地域への理解や愛着を深めていますか。	2.8	7	58	21	2	12
3 本校は、IT教育（プログラミング学習やIT講演会）を通じて、お子様のITへの理解や興味が深まっていますか。	2.6	4	42	33	3	18
4 本校は、協同学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて、お子様に深い学びを提供していますか。	2.8	5	48	18	1	28
5 本校は、教室にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	2.9	9	39	16	0	36
6 本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちにえていますか。	2.9	7	68	14	3	8
7 宿題や課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.1	22	62	11	1	3
8 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.1	20	65	7	0	8
9 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	2.8	12	52	17	5	14
10 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.6	5	33	24	3	35
11 本校の保護者向け進路説明会等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	3.1	17	65	7	1	10
12 本校のキャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	2.8	14	55	21	4	6
13 放課後補習・夏期補習（3年対象）や休日講座（自習型・模試対策型）は、お子様にとって有意義なものになっていますか。	2.9	11	57	16	4	12
14 本校は、お子様の進路志望の実現に努めていますか。	2.9	10	61	16	2	11
15 本校のPTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.5	5	35	30	6	24
16 大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	2.8	7	63	18	2	10
17 本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.1	23	60	8	3	6
18 本校における、スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	2.6	4	35	23	3	35
19 本校が通知したお子様の定期健康診断結果等の情報は役立っていますか。	3.1	22	68	6	1	3
20 お子様は、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができていますか。	2.8	6	63	13	3	15
21 本校は相談しやすい学校ですか。	2.7	7	58	20	6	9
22 本校は生徒理解に努めていますか。	2.9	8	61	13	4	14
23 総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったですか。	3.2	26	62	4	2	6

委員会活動報告

教育支援委員会 佐々木成之
 今年度より発足した教育支援委員会は、体育祭での保護者受付及び秋の交通安全運動に併せての街頭指導を行いました。今後も、コロナ禍等の状況に配慮しつつ、学校教育の一助となるよう取り組めたいと思えます。

研修委員会 松田 聖子
 今年度は、大田市教育長の武田祐子氏をお招きし、ふるさと教育の取組内容の紹介を交えながら、「ふるさと（大田市）」について講演をしていただきました。一人一人が大田のためにできることを考える、当たり前だからこそ感じない大田の良さを改め認識する良い機会になったと思います。ご来場頂いた皆さん、お忙しい中ありがとうございました。

総務委員会 木島真祐子
 今年度の広報委員会は、十一月に二二二号、三月に一二三号の計二回「泰山木」を発行させて頂きました。発行に際し、原稿のご協力をいただきました生徒・保護者の皆様、先生方、本当にありがとうございました。





編集後記

三年生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからの希望ある新たな人生に幸多きことを心から願っています。

この一年間、生徒の皆さんの学校行事や部活動に励む姿をお届けすることができ大変うれしく思っています。

本年度の「泰山木」の発行にあたり、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。（岡田 祐）

今夏、仙台育英高校野球部の須江監督が優勝インタビューで語った「青春は密に共感しました。高校三年間は人生において実に濃密な時間となりますが、コロナ禍に入った二〇二〇年以降に入学した皆さんは、入学式を始め様々な活動を制限されてきました。それでも明るく創意工夫して頑張ろうとする姿は大高祭でも見ることができ、頼もしく感じています。大変な時代ですが、皆さんが希望に満ちた新年度を迎えられますように。

泰山木発行にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございました。（三谷愛子）

三年生の皆さん、保護者の皆さんご卒業おめでとうございます。

コロナ禍に始まった高校生活も、あたりまえの日常とあたりまえでない日常も、マスク生活と、共に終わりを告げそうですが、卒業し、大きな一歩を踏み出す卒業生と保護者の皆様の明るい未来が開けることを願い、また、ゴールに向かって伴走して頂いた先生方には心より御礼申し上げます。（益田アヤ）